

第2回加盟登録制度およびシステムに関するアイディアソン 記録

日 時：2020年9月12日（日）10:00～12:00

参加者：佐野 専務理事、山内 常務理事、磯山 改革担当理事、出田 進捗担当理事、
福嶋 日本連盟コミッショナー、木村 団支援・組織拡充委員長、大久保 指導者養成委員長、和田 財務委員長、
木村 事務局長、佐藤 事務局次長、額谷 組織・管理部課長、
土田 最高DX責任者、只野 副責任者、高野・石井・大高各DX推進室職員

場 所：オンライン開催

議 題：

1. 会員種別の検討

木村団支援・組織拡充委員長より、前回のアイディアソン以降に磯山理事、福嶋日本連盟コミッショナー、村田日本連盟副コミッショナー、木村団支援・組織拡充委員長、大久保指導者養成委員長により検討を進めてきた新しい登録制度における会員種別について、スカウト運動への多様な参画方法を確立するための素案の共有があり、出席者間での意見交換を行った。

主な意見は以下の通り

- いろいろな立場の人にスカウト運動に関与してもらえる面で良い。
- スカウトの保護者を対象とする会員種別を考える場合、提供する情報はスカウトの年代に応じた内容にする必要がある。
- 既存の取り組みで、進学や就業などにより指導者として継続できない人たちを対象として「アラムナイ」会員の登録をしてもらっているが、名称は一般的には分かりづらいかも知れない。OB・OG会などが分かりやすい。
- 技能章考査員も登録してもらえる仕組みがあるとよい。
- 現状では、共済への加入は団による申込が必要であることから、新たな制度では共済の対象者を整理し、団に所属しない会員への手続き方法を検討する必要がある。
- 登録料の値上げはすでに上限まで来ているため、スポンサー会員などで資金確保の強化をしたい。

指導者を含むスカウト運動への支援者を多く取り込んでいくための仕組みとして検討を進め、10月の理事会の承認を受けて設置する加盟登録制度特別委員会に申し送ることとした。

2. 登録料の検討

村田日本連盟副コミッショナー、木村団支援・組織拡充委員長、大久保指導者養成委員長、和田財務委員長で検討を進めてきた指導者の登録料の案について確認を行い、意見交換を行った。

- スカウトの登録料については現状維持か下げ、ひとり親家庭等への助成制度を整備する

- 成人指導者の登録料については、寄付として扱うことにより税控除が受けられるよう検討を進める。
- 個人による負担を軽減するために、団による負担方式（人数に関わらず定額とするか、人数による額とするか）も検討の視野に入れていく

登録料に関する主な意見は以下の通り

- 加盟登録と登録料の間の例外はシステム上少なくなければならない。
- 個人でスマホで支払える仕組みを検討してはどうか。
- 登録の大原則を明確にした上で、県・団・個人などそれぞれの義務も明確化すべき。
- 団による負担形式は個人負担を減らせるが、団による財源確保ができる仕組みを確立してからが良いか。
- 日本連盟の財源はスカウトと指導者の登録料に依存している。それ以外のあらゆる会員にご負担をいただくことを検討すべき。またマンスリーの少額支援をもっと増やしていくべき。
- 団が集めた会員からの会費は団に還元をしていくべき。維持会費については県連盟の努力で成り立っているのでこれまで通り運用したい。
- 表彰制度との連動も確認していきたい。

スカウトの負担を軽減することを目指し、会員種別ごとの義務および権利を整理し、これらに連動した登録料や会費の体系を検討することとした。

3. 新システムの運用開始について

加盟登録システムワーキングチーム設立について土田最高DX責任者より以下の説明があった。

- 9月22日までにメンバー募集要項のドラフトを完成し、人選を開始する。
- 主にシステムの構想設計と業者への外注要件をまとめることをタスクとする。

次回のアイデアソンは9月22日で予定し、それまでにメール又はSlackによる意見交換やとりまとめを行う。進捗を見ながら次回が必要でない場合は行わない。

4. 今後の会議日程

- 9月22日 16:00～ 素案最終確認
- 9月25日資料完成
- 9月29日運営会議
- 10月6日理事会

以上